

審査委員特別賞 広島県

中村 克彦

中村克彦建築事務所

【作品名】

小河原の家



①② 住居棟。2階建てだが基本的にワンルームとした。片流れの大屋根にして連続感を持たせている。また、眺望をよくするために1か所の出入口を除いて、はめ殺しのガラスにした。



③ 中庭は異形形状であり、高さの違う建物と塀に囲まれているため、ちょっとした街並みのなかにいるような気分が味わえる。



設計	中村克彦建築事務所
施工	フタミ建設株式会社
竣工日	2019年6月13日

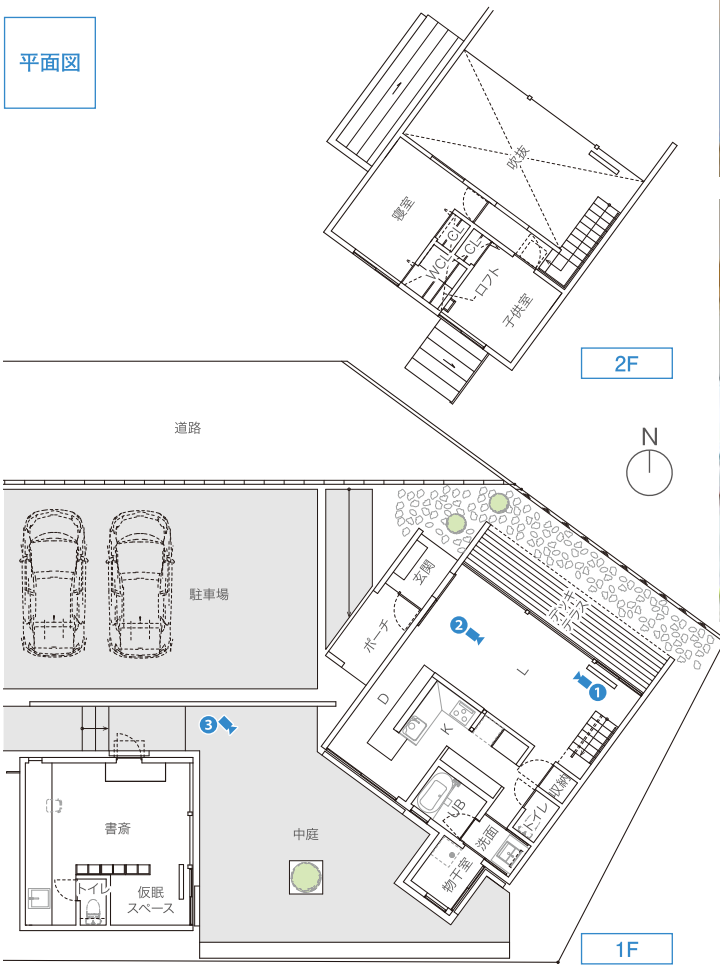
◎建物概要

建設地	広島県広島市	延床面積	104.38㎡
敷地面積	267.99㎡	構造・規模	木造2階建(別棟木造平屋建)

◎設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター
給湯機器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン

平面図



設計コンセプト

敷地は広島市の郊外、斜面に沿った高低差のある団地である。施主自らが選んだ敷地に対する要望は二つ。北東の眺望を生かす事、仕事にも使える書斎が欲しいという事だった。眺望の良い北東に居間を配置して2階建ての住居棟にした。書斎棟は道路に並行に配置し、2棟の間を中庭にした。道路側は4台停められる駐車スペースとし、中庭との間には塀を設けて外部から見えないようにした。中庭の床は住居の床と同じ高さになっており、ダイニングから中庭を通じて書斎まで行き来できる。勾配が無いので雨の日はうすらと水がたまり、気温が下がれば薄水ができる。外壁には丸カンを取り付けており、カツラの木の成長に伴い TENT を木に縛り付ければ

日除け、視線対策になる。高さの違う2棟の間に挟まれた中庭は、午後になると書斎棟の日陰が広がりちょっとしたコンスペースのような雰囲気になっている。また住居棟の屋根は片流れの大屋根で樋を設けていないので雨の日は屋根をつたい落ちる雨粒で雨を感じ、雪の日は雪を感じる。雨の日の居間からの眺めは裏から見る滝のようであり、裏見の滝と呼んでいる。書斎から中庭、デッキテラスまで中のように外のようにもあり、四季を通じて多様なシーンを感じさせてくれるのではないかと思います。

審査委員講評

敷地形状に対する住空間のボリュームの置き方が素晴らしいと思います。主屋と書斎の位置関係、その二つに挟まれた中庭と駐車場、それらの配置とボリューム感が自然的であり、説得力があります。内外空間が一体であり、実に伸びやかでシンプルな美しい住宅です。見晴らしを大切に扱うための開口部のディテールが全体を引き締めています。